

平成25年予算決算委員会第3分科会会議録

1. 招集年月日 平成25年9月25日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 平成25年9月25日 午前11時45分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会提言の取りまとめについて
2. その他

5. 出席委員 (6名)

分科会長	天羽良明	分科会員	林則夫
分科会員	可児慶志	分科会員	山根一男
分科会員	山口正博	分科会員	出口忠雄

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	伊藤寿	予算決算副委員長	伊藤英生
---------	-----	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 書記	小池祐功	議会事務局 書記	上田都
-------------	------	-------------	-----

開会 午前11時45分

分科会長（天羽良明君） これより予算決算委員会第3分科会を開催いたします。

認定第1号から認定第17号までの平成24年度各会計決算認定審査の結果を踏まえて、平成24年度の予算執行の反省を平成26年度当初予算編成に生かすよう提言を行っていききたいと思います。

9月19日の予算決算委員会において、委員からの発言のありました内容をもとに、本日、分科委員の皆様からの教育福祉委員会所管についての御意見をいただき、まとめていききたいと思います。

まずは、提言として取り上げる、盛り込む、削除するについて整理し、後ほど成文化をしていききたいと思います。

それでは、山口副委員長から提言案について説明をいただきます。

分科会員（山口正博君） 前回の教育福祉委員会所管の予算決算委員会の折に、伊藤英生副委員長のほうから6項目の御提示がありました。それを委員長と相談しながら一つの文章にまとめてみましたので、6つ、これから読み上げたいというふうに思います。

1つ目といたしまして、新規事業については、年度当初に事業提案及び予算計上を原則とし、次年度新事業に必要があれば、年度途中であっても補正をして取り組まれます。

2つ目といたしまして、地域福祉基金について、可児市基金条例に従い、設置の目的のためにのみ、その資金に充当されたい。

3番目、本市の歴史的文化遺産を総合的かつ戦略的に生かすよう新たな政策を構築されたい。

4番目、機構改革により生涯学習など所管の変更がなされたが、人間形成に最も必要な事業であった「手づくり絵本大賞事業」が打ち切られるなど弊害が生じているが、再度機構改革の見直しをされたい。

5番目、児童クラブ事業について。本年度からキッズクラブに名称変更がなされ、長期休暇期間のみの児童も統合されたが、従来からの通年保育と短期保育を分離し、短期保育は民間委託をするなど通年保育の充実を図られたい。

6番目、包括支援事業の「安心ダイヤル24」について（案1）。包括支援事業の「安心ダイヤル24」の25年度運用実績を踏まえ、目的達成に必要な事業であるか、早急に精査されたい。

以上6件でございます。

分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

皆さん、進め方も含めて御意見をいただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

分科会員（山口正博君） 6項目ありますけれども、教育福祉委員会所管といたしまして2つぐらいに絞ったらどうかというふうに思います。

分科会長（天羽良明君） 2つぐらいにという意見が出ました。ほかに。

分科会員（山根一男君） 私も、数字は決めることはないと思いますけれども、やはり個人

と言ってしまふといかんかもしれませんが、非常に思い入れの強い意見もありますので、その辺をこのメンバーで精査した上で、本当に今必要な、これは平成24年度の決算に対するということですので、それにそぐうものを、このまま出していいのか、もう少し膨らませたほうがいいようなことも考えないでもないんですけど、とりあえずこの6項目の中からまずは取捨選択作業をしたほうがいいと思います。

分科会長（天羽良明君） 2人が同じ意見が出ましたけれども、その取捨選択の方法について何かいい考えがございましたらお願いします。

分科会員（山根一男君） それは各自意見を述べて、それに対して皆さんが賛同できるかどうかというところで、作業するほどのことではないと思いますけれども、皆さんがそうだということであればそれでいいと思います。

分科会員（山口正博君） それでは私の意見を述べさせていただきます。

まず1番につきましては、この教育福祉所管に限ったことではありませんので、この教育福祉所管に限ったことで私は決めていきたいなあというふうに思います。

まず1つが、2番目の地域福祉基金についてと、3番目の本日午後に見学する牟田洞窯を初め荒川豊蔵記念館も可児市のほうへ寄附をいただき、これからそういうものを生かしたまちづくりというか、そういった政策をやはり構築するべきだというふうに考えますので、この2つに絞っていったらどうかなあというふうに思います。

分科会長（天羽良明君） ほかに盛り込んだほうがいいと思われるものが副委員長以外にありましたら、お願いいたします。

分科会員（山根一男君） 私も大体その2点がこの中では比較的重要といたしますが、皆さんの合意も得やすいのかなと思っています。特に1は当たり前のことを言っているだけですし、ただ4の機構改革の見直し、見直しじゃなくてもいいんですけども、この件ではなくて、大きな話になるんであれですけど、要するに教育委員会から市庁部局にいろんな部署が移った、そのことに対する評価とか弊害とかをもし感じているんなら、それはこの委員会である程度話し合う大きなテーマかなと思います。きょうここでということではないかもしれませんが、基本的には2番と3番の路線で賛成です。

ただ1点、ちょっと新たな政策をというよりは、総合的な戦略といたしますが、非常に今歴史的なことがいろんなところで可児市に関していえばにぎわしくなっておりますので、時期的には非常にいいと思っています。

分科会長（天羽良明君） 2番と3番という意見が多いようですが、そのように進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしということで、2番、3番ということに絞り込んで、成文化のほうを進めたいと思います。

前委員会のときに委員長のほうからもございましたが、決算の関係で議会報告会をもしさせていただいたときに、市民の皆さんから福祉的なことも議会のほうで議論しているだろう

かという意見も出たようですので、この地域福祉基金のところでそういった部分が網羅できるように、成文化のほうでは少し、山根委員も言われたように肉づけがもし必要であれば、皆さんからも御意見もいただいでいきたいと思ひます。

順番に、この2番と3番に絞って進めさせていただきますが、先に2番から進めさせていただきますということでよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

今現在は、山口委員につくっていただひのがこの文章でございます。ここに何かキーワード等を盛り込んだほうがいいというようなものがございましたならば、御意見をお願いしたいと思ひます。また、ちょっと不明な点等もございましたならば、あわせて御発言いただければと思ひます。

分科会員（山根一男君） ちょっとまとまりませんが、設置の目的のためにのみという形だと、多分今回の使い方ですか、社会福祉協議会の職員の人件費ということですけど、それも目的には沿っているという言い方だったと思ひますので、市民感覚としてもう少し、特に寄附した方の思いとか、そんなことも含めてこの地域福祉基金の本当の使い方として望ましいものは何かというところを、最初の目的だけではなくて、もう少し膨らませて検討する、あるいはこういう基金があること自体ほとんど知られていない状況の中で、こういうものがあるんだよということを何とか表に出すような方法はないのかなということを感じています。

分科会長（天羽良明君） 今、市民の心を入れたほうがいいんじゃないかという御意見が出ましたが、ほかにはいかがでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ないようですので、実はそれをちょっと予測させていただきます、成文化のほうを、きのう少しだけ事務局と御用意をさせていただきますので、今、山口副委員長と私とで先につくった文章のほうを、事務局と一緒にちょっと肉づけをさせていただいたものを案とさせていただきますたいと思ひます。

2番の地域福祉基金のあり方についてということで、これが山田委員のほうからは、経常経費を一般財源で賄えるように予算を考えてほしいという提言と、あと川合委員の寄附をされる方の思いを基金に使い方を含めて入れるようということもありました。それを入れまして、可児市基金条例に従ひ、設置の目的とされる資金にのみ充当することとし、社会福祉のための市民からの寄附の受け皿として末永く継続できるように、地域福祉計画の見直しの中で各種民間活動の振興に活用されたいというふうに案としてまとめさせていただきます。

これは案という形でございますので、ちょっと成文化のほうの作業は暫時休憩をさせていただきます、整理をしてからまた会を再開したいと思ひますので、暫時休憩とさせていただきます。

休憩 午前11時57分

再開 午後4時27分

分科会長（天羽良明君） 休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

当分科会から予算決算委員会に報告する提言案を策定いたしましたので、朗読いたします。
歴史文化遺産への取り組みについて。

国宝卯花塙のふるさとである牟田洞古窯跡を含む大萱古窯跡群や国指定を受けた金山城跡などの歴史的文化遺産を、可児市のシンボルとして、観光、教育、健康、地域のまちづくりなどさまざまな分野で活用するようなランドデザインの策定をすること。

このとおり決定しました。9月27日の予算決算委員会において報告することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

閉会 午後4時29分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成25年 9 月25日

可児市予算決算委員会第3分科会長